

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	017 防災設備整備等関連事業										
予算科目	01-090102-12 地域防災推進に要する経費					担当部課	市長公室危機管理課				
市長公約	67		70				係名	危機管理係			
戦略プラン	Ⅱ-3	1	1	災害に対する安定した備蓄の推進			新規・継続	継続			
	Ⅱ-3	1	2	公共施設の機能維持の推進			事業分類	自治事務（任意）			
							事業体制	一部委託			
個別計画	地域防災計画、危機管理指針、地区防災計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	災害対策基本法						SDGs	13気候変動に具体的な対策を			
								16平和と公正をすべての人に			

事業の概要

対象	市民
目的	災害時に、迅速な情報伝達や地域の防災活動に寄与するとともに、被災した市民等に救援物資や生活物資等を供給する。
概要 (取組内容)	防災関連設備（防災行政無線、緊急速報メール、災害通知メール、防災アプリ、ラジオ等の情報伝達手段や防災井戸等）の整備及び維持管理を行う。交通手段の断絶や流通機構の停止等により、物資供給に大きな支障が生じるおそれがあるため、災害発生から概ね3日間程度の物資を確保する。指定避難所（公共施設）にカセットガス式の非常用発電機を配備する。災害時の断水に備え災害用井戸を整備する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	111,365	231,949	181,837	88,432	88,432	
	決算額	(千円)	85,696	214,490	150,065	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	33,496	72,390	47,765	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	52,200	142,100	102,300	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	13,789	13,743	15,032	14,783	14,783	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	50.00	502.50	400.00	400.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	広報紙、出前講座、ホームページ、SNS、動画配信、ハザードマップでの情報発信
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	デジタル型防災行政無線の設置割合（ % ）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	80.0	90.0	100.0	100.0	100.0	0.0
	指標の概要	土砂災害警戒区域、浸水想定区域、急傾斜地等の災害リスクが高いエリアへの計画に対しての防災行政無線設置割合（H29年度土砂災害・浸水想定区域の拡大に伴い、目標値修正）					

2	指標名	備蓄品確保状況 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-3-①市の備蓄の推進や公共施設の機能維持) 備蓄品(水・食料)の確保率 ※20,000人分(三食/人×3日分)を100とした場合の充足率					
3	指標名	指定避難所(公共施設)の非常用電源の確保状況 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	77.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-3-①市の備蓄の推進や公共施設の機能維持) カセットガス式非常用発電機の備蓄数を指定避難所(公共施設)数で除した値					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		市の備蓄を維持管理するとともに、個人での備蓄の必要性について周知・啓発を行った。また、つくば市民・学校プールの災害用井戸については、平時はトイレの洗浄水として利用するよう整備した。
成果		つくば市民・学校プールに災害用井戸や非常用発電機、吉沼体育館とみどりの南小中学校に非常用発電機と備蓄倉庫を整備した。食料や飲料水の備蓄について、引き続き2万人の3食3日分程度の備蓄を維持した。
課題	業務	公共施設を新設する際、施設の所管部署と、防災設備の整備について十分に協議を行い、仕様を精査する必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標		令和8年開校予定の(仮称)中根・金田台地区小学校の防災設備について、関係部署と連携して整備を進める。また、他の公共施設についても、新設や大規模改修等を行う際は防災設備の導入について協議する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	019 自主防災組織・地域防災活動支援事業										
予算科目	01-090102-12 地域防災推進に要する経費					担当部課	市長公室危機管理課				
市長公約							係名	危機管理係			
戦略プラン	Ⅱ-3	2	2	つくば市自主防災活動支援補助金の交付			新規・継続	継続			
	Ⅱ-3	2	1	防災に対する意識の啓発			事業分類	自治事務（任意）			
							事業体制	補助金（間接）			
個別計画	地域防災計画、危機管理指針、地区防災計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	災害対策基本法						SDGs	13気候変動に具体的な対策を			
								16平和と公正をすべての人に			

事業の概要

対象	市民
目的	大規模災害の発生に備え、共助の観点から、自主防災組織の結成や活動に対する支援を行い、防災活動の強化を図る。
概要 (取組内容)	組織発足の際の支援や資機材購入の一部補助等を行う。 災害への備え（備蓄や家具の転倒防止、災害情報の収集など）の重要性を出前講座や防災イベント等で伝える。 出前講座の開催や防災イベント等での啓発、地域からの相談に応じた勉強会への協力等を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	2,897	2,928	2,928	5,436	5,436	
	決算額	(千円)	2,411	957	3,079	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,411	957	3,079	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,956	6,933	7,916	7,392	7,392	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	50.00	415.75	200.00	200.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	全区長への通知、出前講座
企画・立案、計画	防災会議
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	自主防災組織のカバー率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	63.0	63.0	63.0	63.0	63.0	63.0
	実績	65.0	67.3	70.9	73.2	77.2	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-3-② 自宅の安全・備蓄対策や地域での支えあいの推進) 自主防災組織を有する行政区の世帯数をつくば市全体の世帯数で除した値					

2	指標名	出前講座回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	実績	28.0	5.0	15.0	29.0	30.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		地域における防災リーダーを対象とした防災講座「伝わる防災」や、スマートフォンの操作等が苦手な人を対象とした防災情報取得に関する説明会を開催した。
成果		市広報紙に災害に関する情報の入手方法等の記事を6回掲載。出前講座等を30回開催し、自宅の安全対策や備蓄等の防災対策について啓発。商業施設において防災イベントを2回開催、パネル展示を1回実施。シェイクアウト訓練を1回実施（96団体 42,444名参加）。自主防災組織活動育成事業補助金を16団体に交付（運営支援1団体、資機材10団体、防災士資格取得支援5団体）。
課題	業務	自助・共助の機能を高めるために、引き続き市民一人一人の災害への備えや地域における助合い・防災活動が重要であることを周知・啓発していく必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標		幅広い市民に対して周知・啓発を行っていくとともに、地区防災計画の策定支援等もより推進していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	021 地域防災計画事業										
予算科目	01-090102-12 地域防災推進に要する経費					担当部課	市長公室危機管理課				
市長公約							係名	危機管理係			
戦略プラン	Ⅱ-3	2	3	地区防災計画策定の推進			新規・継続	継続			
							事業分類	自治事務（義務）			
							事業体制	職員のみ			
個別計画	地域防災計画、危機管理指針、地区防災計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	災害対策基本法						SDGs	13気候変動に具体的な対策を			
								16平和と公正をすべての人に			

事業の概要

対象	市民
目的	平時から、迅速かつ円滑な災害体制を確立させる。
概要 (取組内容)	国・県の防災基本計画及び地域防災計画の改定を受け、つくば市地域防災計画の改定を行う。（東日本大震災、竜巻災害の経験等を反映させ、つくば市の防災体制を強化する。） 地区防災計画の策定支援を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	9,430	80	80	80	80
	決算額	(千円)	9,020	0	0	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	9,020	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,956	7,302	7,499	7,392	7,392
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	201.00	244.00	200.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ワークショップへの参加、訓練の参加
企画・立案、計画	地区防災計画の立案
実行	地区防災計画の策定
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		市民による地区防災計画の策定を支援するため、洪水浸水想定区域内のリスクが高い地区（小貝川周辺）の3地区の区長と協議を行った。
成果		被災者生活再建支援システムの操作及び関連作業に係る習熟度の向上を図るため、納税課、資産税課、市民税課、社会福祉課と共同で操作等訓練を実施した。また、全国瞬時警報システム（Jアラート）情報伝達試験、Lアラート全国合同訓練、鬼怒川・小貝川出水時Web情報共有訓練、安否情報システム全国一斉訓練等を実施した。
課題	業務	新型コロナウイルス感染症の影響で、職員の災害時対応の訓練が実施できていなかったため、訓練を再開していく必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標		職員の災害対応訓練を行うため、訓練シナリオの検討や参加者と調整を行っていく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	
理由	